

音楽科文化系における学習成果のアウトプット

背景・目的

文化系の研究の幅は非常に広く、その幅広さが活気と刺激を生む魅力になっていると同時に、演奏のイメージが明確な実技系に比べて、コース全体のイメージをとらえにくい側面を持つ。2010年度より開始した「文化系コロキウム」は、文化系の特徴的な学習成果と、今年度卒業論文・卒業制作の全研究を学外一般公開で発表する事により、文化系のカリキュラムの機能的な筋道と教育成果が広く紹介され、学生達自身にとっても実感できるものと期待される。

実施内容

「文化系コロキウム」

2013年2月9日(土)17:30~20:00

エル・パーク仙台ギャラリーホール



内容

2年生「音楽制作セミナー」制作作品”20Years”
生演奏

3年生「音楽文化実習」プレゼンテーション
”宮城の音楽人”パンフレットについて

4年生(9名)卒業研究発表

【音楽文化専攻】「日本におけるフラの受容について～フラスカールの活動から」
「若者の自己表現とその意義～カラオケとSNSにみる」
「J-Pop

におけるライブコンサートの現代的意義」

【応用制作専攻】

「聴覚情報によるイメージ喚起」
「和声+αによる感情表現」
「テーマ音楽とその制作」
「オリジナリティの追求」
「発想を広げる～空をテーマに」
「物語る音楽」



結果及び考察

研究を一般聴衆に「呈示する」工夫をすることによって、学生が自らの研究を振り返る機会として、有効に機能したと考える。また、終了後に実施したOGとの交流会はたがいにとって大きな刺激となった。何よりも学生達自身が文化系の学習意義を確信できたことが、今後の研究への意欲や発想の広がりにつながる一歩である。